



国立民族学博物館

特別公開講義

# アイヌとアボリジナルのいま

(同時通訳付き)

2009年 **11月28日** (土)

午前 **11時** ~ 午後 **5時15分**

場 所：国立民族学博物館講堂

参加費：無料

定 員：300名

主催：国立民族学博物館 オーストラリア学会  
助成：豪日交流基金 後援：文化庁



今回のこの講義では、日本とオーストラリアの先住民(族)アイヌとアボリジナルが抱える今日的な問題、とりわけ法的な状況や環境問題について議論を深めます。アイヌに関しては、「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」があらたな立法措置などを求めています(2009年)。またアボリジナルについても、連邦政府は一部のコミュニティに直接介入できる法的処置を講じました(2007年)。さらに環境管理は、それぞれの固有文化の継続的な発展に不可欠なものです。これらを中心に講義を展開します。

講師

総合司会

- 秋辺日出男氏 (北海道アイヌ協会) 松山利夫 (国立民族学博物館)  
 貝澤 耕一氏 (北海道アイヌ協会)  
 佐々木利和 (国立民族学博物館)  
 Kado Muir氏 (アボリジナル文化遺産研究コンサルタント)  
 Nicolas Peterson氏 (オーストラリア国立大学)

プログラム

11:00 ~ 11:05	国立民族学博物館 館長 挨拶
11:05 ~ 12:00	セッション1「日本史のなかのアイヌ」 佐々木利和 (国立民族学博物館)
12:00 ~ 13:00	昼食休憩
13:00 ~ 13:55	セッション2「アイヌの自然管理」 貝澤耕一氏 (北海道アイヌ協会)
13:55 ~ 14:05	休憩
14:05 ~ 15:00	セッション3「アボリジナルの環境管理」 Kado Muir氏 (アボリジナル文化遺産研究コンサルタント)
15:00 ~ 15:10	休憩
15:10 ~ 16:05	セッション4「新連邦法をめぐる諸問題」 Nicolas Peterson氏 (オーストラリア国立大学)
16:05 ~ 16:15	休憩
16:15 ~ 17:15	総合討論1「阿寒からのメッセージ」 秋辺日出男氏 (北海道アイヌ協会) 総合討論2 全体討議

主催：国立民族学博物館  
オーストラリア学会  
助成：豪日交流基金  
後援：文化庁

2009年11月28日(土)

午前11時 ~ 午後5時15分

国立民族学博物館 講堂  
参加無料

当日先着順に300名まで受け付けます。  
参加ご希望の方は直接会場にお越し下さい。

※各講師の報告タイトルは変更になることがあります。

交通のご案内

●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分  
 (特別公開講義のみ参加される方は、自然文化園を通行される場合、入園料が必要となります。ただし、特別展・常設展をご覧になる方は、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。)

「公園東口駅」下車徒歩15分  
 (「公園東口駅」からは自然文化園を通行せずに来館できます。)

●バス

〔近鉄バス〕(阪大本部前行き)  
 阪急茨木市駅から約20分  
 JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、  
 徒歩約15分

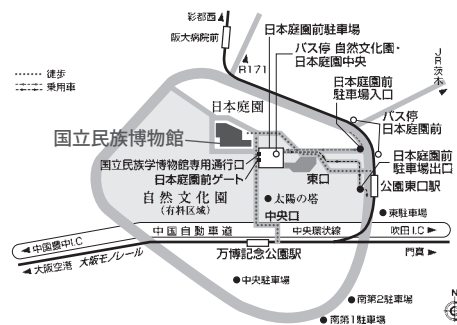
〔阪急バス〕(万博記念公園駅経由千里中央行き)  
 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から  
 約10分「自然文化園・日本庭園中央」下車、  
 徒歩約5分

●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分

●自動車

駐車施設が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分  
 ※「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

《お問い合わせ先》

国立民族学博物館 研究協力課 国際協力係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1 TEL: 06-6878-8235 <http://www.minpaku.ac.jp/>